

●松戸市立病院の充実へ 国・県の補助金増額を

大切な公立病院！病気を治しながら、院内学校「ひまらや学級」に通う子どもたち。先生も子どもたちも頑張っていたよ…感動。



市立福祉医療センター（東松戸病院・梨香苑）で、地元のボランティア美容師さんによるカットを楽しみに待つ車椅子の高齢者。地域に愛され、支えられて…



医師・看護師不足の解消を。この空きベッドに、患者さんたちが早く入院出来るようにと、市議団と共に、厚生労働省と交渉しました。

●“動く対県交渉” 「危ない」県道改善や水害対策を早く

みわ県議は、県の担当者とともに市内各所を回り、住民のみなさんから要望を聞きました。その場で、住民と一緒に県に改善を求めました。



松戸駅前メイン通りの歩道がこんなに剥がれ…その場で県が緊急改善を約束。



市内中心部の駅前。9月の集中豪雨でまたもや浸水被害。店をたたむ事態にまで被害は深刻。県は抜本対策を約束。



電動カート（車椅子）の女性。歩道が狭く、危険と隣りあわせ。

●常盤平駅南口にエレベーターを1000筆超の署名で再交渉

「下りの階段が怖い、キツイ…」と手すりにすがり後ろ向きに下りる高齢者。常盤平団地などの住民から寄せられた1000筆を超える署名をたずさえて新京成本社と二度目の交渉。



●良かった！過密解消へ第一歩 新校舎増設



つくし特別支援学校は県内でも最大規模。児童生徒数が開校時の三倍以上となり、過密化が深刻で、私は当選

以来何度も増設を要求。世論も広がり、ようやく高等部の新校舎が昨年春竣工。

障害もつ子どもたちの特別支援学校の全教室にクーラー実現！

体温調節のできない生徒や、指導する先生の大変さを取り上げ全教室にクーラーが設置されることになりました。

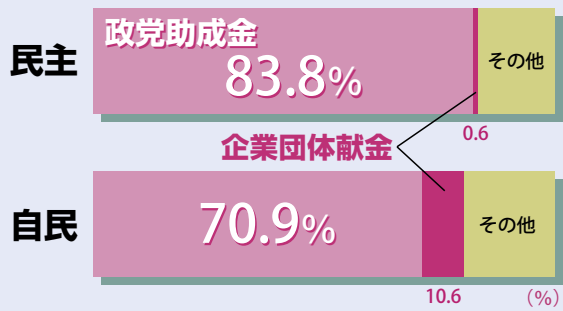


暑 あっつ〜い!! 県立高校にもクーラー早く



市内の県立高校の音楽室が暑くてたまらないと二年前から要望。子どもたちは汗だく、視察した、みわ県議も扇風機の前でぐったり。今年の夏も「助けて」の訴えがあちこちから。県は、保護者負担で、と言うばかりで、教育環境を整える責任を果たそうとします。改善を強く要求しています。

“ムダをけずる”といいながら 税金どっぶり 政党助成金はやめるべき



2009年の政治資金収支報告書が公表され、民主、自民の“税金依存体質”がハッキリしました。政党助成金は聖域あつかいし、苦勞せずに党財政をまかなおうという姿勢が問われます。

日本共産党は、憲法違反の政党助成金も、政治をゆがめる企業・団体献金もうけとりません。党費と個人献金、「しんぶん赤旗」発行など、浄財に依拠する清潔な財政をつらぬいています。

あれ? 民主党さん 「企業・団体献金禁止」の公約なげすて 企業献金も政党助成金も うけとり続ける



北朝鮮の無法を許さない

日本共産党は、国会で北朝鮮による「拉致」をはじめ政府に認めさせ（1988年）、無法行為をきびしく批判してきました。

韓国・延坪島への砲撃事件でも、ただちに談話を発表。党首会談でも、北朝鮮の主張に道理がないことをしめし、菅首相も「良くお調べになっている。きちんと調べて対応する」と応じました。

みわ県議とともに 住みよい松戸市をめざします

山口 正子
(市議会議員)

伊藤 よいちろう
(市議会議員)

高木 健
(市議会議員)

うつの史行
(市議会議員)

高橋 たえこ
(市議会議員)



市議5人と一しょに がんばります